

民法改正による成年年齢引下げ後の成人式について（案）

教育委員会 生涯学習課

平成30年6月に成立した民法の一部を改正する法律により、令和4年4月1日から民法上の成年年齢が20歳から18歳に引き下げられる。

成人式については、その時期や在り方等について法律上の定めはなく、各地方公共団体の判断で実施されている。

＜祝日法における成人の日の意義と民法の成年年齢の関係＞

祝日法において、成人の日は、「おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝いはげます」日と定められており、この「おとな」の年齢については、立法当時の国会での議論を経て明確な定義を設けてないこととされたという経緯があり、民法の成年年齢と必ずしも一致するものではない。また、祝日法において、成人式に関する規定はない。

※参考：「成人式の時期や在り方等に関する報告書」（令和2年3月）

成年年齢引下げを見据えた環境整備に関する関係府省庁連絡会議（成人式の時期や在り方等に関する分科会）

1. 成人式の意義

- ・ 人生の節目、通過儀礼としての役割
- ・ 日本の伝統的な和装文化に触れる機会
- ・ 成年の自覚をもって社会に参画し、社会もそれを祝う
- ・ 周りの人に感謝し、新たな一歩を踏み出す
- ・ 成人に達した青年の門出を市民全体で祝い励まし、新成人の自覚と社会参加を促す
- ・ 地域の人とのふれあい、地元を意識する機会

2. アンケート結果

（1）令和2年岡谷市成人式会場（令和2年1月12日）

対象者：成人式に参加された新成人（回答191人）

Q 成人式の対象年齢は？

20歳（178人・93.2%）、18歳（9人・4.7%）、その他（4人・2.1%）

＜主な意見＞

◆ 20歳を選択

- ・ 18歳は進学等でお金がかかる時期だから大変
- ・ 在学中で、受験、就職等、忙しい時期

◆ 18歳を選択

- ・ 法律で18歳となるから

(2) 各区アンケート（令和元年12月下旬～令和2年1月17日）

対象者：市内21区の区長・区役員

Q 成人式の対象年齢は？

20歳（15区・71.4%）、18歳（4区・19.1%）、その他（2区・9.5%）

<主な意見>

◆20歳を選択

- ・受験、就職の時期を避けられ、本人、家族が落ち着いて成人式を迎えられる。
- ・18歳は学生であり、社会人としての責任感も芽生えてこないと思う。
- ・18歳成人式にすると、令和5年は3年分開催となり混乱するので不可。

◆18歳を選択

- ・成年年齢は18歳になる。20歳で「成人式」を行う意味が分からない。飲酒、賭け事ができることを祝うのか。
- ・法律の「成人」に従う。選挙権の責任を以って実践し、「成人」としての認識をもたせなくてはならない。

◆その他

- ・若者の意向を確認する中で決定したらいい。
- ・20歳での実施は意味をなさない。感激も少ない。
- ・18歳は入試、卒業等イベントが多く無理。時間もない。やめた方がいい。

(3) 社会教育委員アンケート（令和2年1月20日～2月4日）

対象者：社会教育委員（10人）

Q 成人式の対象年齢は？

20歳（8人・80.0%）、18歳（2人・20.0%）

<主な意見>

◆20歳を選択

- ・18歳は、進学・就職を控え、進路を決めるにも本人・家族の負担が大きい。
- ・18歳だと成人式参加者が激減すると思われる。入試を直前に控え成人式どころではない。出費も重なり、式への参加は二の次になる。よって、地域をあげての行事にならないのでは。
- ・飲酒・喫煙は変わらず20歳ということもあり、人生の節目を祝うのにふさわしい。
- ・2年間で自覚を持ち、より成人としての資質を磨くことが必要。

◆18歳を選択

- ・成人になった自覚・責任を意識させるためには18歳で良い。

(4) 当事者（保護者）アンケート（令和2年1月14日～1月30日）

対象者：令和4年度に18歳となる当事者及びその保護者（337人・回答率75%）

Q 成人式の対象年齢は？

20歳（310人・92.0%）、18歳（15人・4.5%）、その他（12人・3.6%）

<主な意見>

◆20歳を選択

- ・受験直前の時期なので、これまでどおり20歳が良い。
- ・大学受験前で、スケジュールや体調管理のため参加できなくなりそうだから。
- ・高校卒業後、皆離れてしまうが、それぞれ成長して再会する機会があってもいい。
- ・20歳が人生の一つの節目という感じがするから。
- ・高校卒業前の成人式はおかしい。18歳だと、金銭面での負担があるから。

◆18歳を選択

- ・法律上、成年年齢が18歳であるため。20歳で成人式を行う根拠がなくなる。
- ・高校を卒業したら、大人としての自覚をもって行動できる年なので。
- ・まだ地元に残っているうちに式をした方が、出席率が良いと思う。

◆その他を選択

- ・精神年齢が低下してきている。18歳成人は幼いようにも思えるが責任を持たせることも必要。
- ・19歳での成人式が良い。
- ・成人式は必要ない。各家庭において親子で話し合い、成人の誓いをすればいい。

3. まとめ

岡谷市では、アンケート調査の結果等を踏まえ、成年年齢引下げ後においても、これまでどおり当該年度中に20歳に達する方を対象に、成人を祝う式典を実施してまいりたい。

<主な理由>

- (1) 18歳を対象とした場合、大学受験や就職等、進路に関わる大切な時期と重なること、また、家計への負担が集中、増大することが懸念される。
- (2) 進学や就職などで一度地元を離れた人が、ふるさと岡谷で式典開催をきっかけに、旧友との再会や地域とのつながりを再認識することで、郷土への愛着を深めてもらう機会となるとともに、Uターン就職のきっかけになる。
- (3) 一部権利は18歳では認められず、20歳はすべての年齢制限がなくなる区切りの年齢である。また、2年間社会で大人の経験を積み、さらなる成長がみられる20歳という年齢は、市民全体で祝い励まし、成人の自覚と社会参加を促す時期に適している。
- (4) 18歳を対象とした場合、令和4年度の成人式の対象が3学年同時に成年を迎えるため、開催準備、式典に混乱が生じる可能性がある。

○式典の時期

- ・成人の日の前日

成年年齢引下げ後最初の式典・・・令和5年1月8日（日）

※5月の連休中、夏休み中などの考えもあるが、まずは慣例に従い1月に実施し、状況をみながら検討していくこととする。

「１８歳時の取り組み」及び「２０歳時の式典の名称や内容」については、別途検討することとするが、令和４年度予算に関係することから、早急に方針を決定する必要がある。

○１８歳時の取り組み

- ・「成年年齢１８歳」の時に、成年としての権利を得て、社会的責任も負うようになることから、「成年としての自覚を促す取り組みが必要である」とのご意見もあったことから、令和４年４月１日以降において、対象の方に「成年として心得ておかなければならないこと」などについて、国や県等の動向も踏まえつつ、適切に情報を発信していく必要があると考える。

＜１８歳が成年になることで変わること＞

- ・親の同意を得なくても、契約（携帯電話の購入、クレジットカードの作成、アパートを借りるローンを組んで自動車を購入する等）が結べる。
- ・公認会計士や司法書士など国家資格に基づく職業に就くことができる。
- ・女性の婚姻開始年齢が、現在の１６歳から、男性と同様の１８歳に引き上げられる。

など

○式典の内容（案）

- ・２０歳という年齢については、人生の節目の年であり、通過儀礼として市が祝い励まし、大人の自覚と今後の社会参加を促すための式典を実施する。
- ・式典のほか、多くの２０歳の若者が集うこの機会を利用した企画の検討。